

(公民) 地方自治に関する発展的学習

1. 学習のねらい

「心のふるさと館」の調査を通して、大野城市が進める街づくりと地方自治のあり方についての理解を深める。

2. 指導計画 (4時間)

学習活動	指導上の留意点	時間
1 事前学習 ・心のふるさと館を見学・調査するときのグループと調査するコーナーを確認する。 ・調査内容の共通理解を図る。	・心のふるさと館の概要を説明し、調査目的と学習の流れ、見学時の注意事項等を理解させる。 ・「街づくり」との関連を常に意識させる。	1
2 心のふるさと館を調査する (1) 心のふるさと館から全体説明を受ける。 ・心のふるさと館の役割等について説明を受け、学習の見通しを持つ。	・施設から「設置の背景」や「施設の目的」「建築・運営費用」等を簡潔に説明してもらう。 ・館内での注意事項を徹底させる。	2 (7)
(2) 調査活動を行う。 ① グループ別に担当する施設の各コーナーの役割を確認する。 ・カフェ、エントランス、昔の暮らし、体験、展示、図書、特別展示。	・各コーナーの内容や現状を確認させるとともに、状況に応じて各コーナーの職員に質問するよう促す。	(25)
② 調べた各コーナーが、「街づくり」とどう関係しているかをグループごとに検討する。 ・各コーナーが担う役割を紹介できるように、発表原稿を作成する。	・学習プリント(発表原稿)に記入させ、各コーナーの特徴や街づくりとの関連を明確にさせる。	(20)
(3) 全体で施設を見学し、心のふるさと館が果たすべき役割を知る。 ① グループで調べた内容を紹介しながら、各コーナーを見学する。	・エントランスに集合後、教員の誘導で各コーナーを回り、担当グループに紹介させる。	(20)
② 心のふるさと館が街づくりに果たす役割をさらに高めるために工夫できることはないかを話しあう。《研修室》	・紹介が不十分であれば補足する。 ・研修室に入り、心のふるさと館に期待されていることを教員がまとめる。その上で、さらに工夫ができないか考えさせる。	(20)
③ 館が設置された背景を知る。	・施設から改めて「設置の背景」(なぜ新たな施設を設けたのか)について、思いと「利用状況」等を中心に説明してもらう。	(8)
3 まとめ活動(事後活動) ふるさと館の更なる活用法を発表し、街づくりについて考える。	・グループごとに提案させ、交流させる。 ・地方自治(街づくり)について、まとめる。	1